

春－8 図書館へ行こう

1. 活動の目的

- ①図書館に親しみを持つ。
- ②図書館で本を借りるだけでなく何ができるか知る。
- ③実際に図書館に行って、自分の知りたいことを調べる。

2. 準備するもの（☆は教材ファイルにあるもの）

☆吹田市図書館案内の翻訳版（英・中・韓）→必要に応じて渡す。

☆図書館活動シート（コピーして各自に渡す）

3. 活動の手順

発：発展的活動 **留**：留意点 **参**：参考

活動1

- ・図書館の上手な利用方法を知る。
- ・日本の図書館について知っているか、利用したことがあるか聞く。
- ・自分の国ではどのように利用していたかも聞く。

活動2

図書館活動
シート

- ・SIFAと同じビル内3階の「千里図書館」へ行くことを伝える。
- ・図書館での活動の前に、図書館で何をしたいか、何が知りたいか、各自ひとつ決めて、シートに書く。
- 例：（テキストの吹き出し以外に）
外国語の本がある？ インターネットが使える？ 何時間いても大丈夫？
CDやDVDも借りることができる？ どうやって借りる？ 寄贈はできる？等々。
- ・思いつかない学習者には、興味があることや生活のことを聞いて、そこから何か決められるよう助ける。

活動3

- ・「千里図書館」へ一緒に行く。
- ・カウンターで「ようこそ図書館へ」等の資料をもらう。
- ・活動終了時刻を決めて、「〇時△分に×××に集合」と伝えて、それぞれ活動開始する。（活動時間の目安：約30～40分）
- ・図書館内で各自、自分の決めたことを探す情報収集活動をする。
- ・わからない時は、係の人への質問するようアドバイスする。その場合、できるだけ自分で会話ができるよう、見守る。どうしても必要なときだけ、助けに入る。
- ・入口近くのたくさんの情報チラシや壁にあるイベントのお知らせなどもあることを、知らせる。

留 学習者のレベルにもよるが、自ら行動できるよう、アドバイスして見守る。

活動4

- ・教室に戻り、「図書館活動シート」の残り部分を記入してもらう。文で書けない学習者には、単語だけでも良いので書いてもらう。
- ・各自、発表する。体験や感想を人に伝える。
- ・質問をしあったり、皆の情報を共有する。

- ・上手くできなかったことについては、どうすれば良かったか等、皆で考える。

留 「図書館活動シート」は、母語で書いても良い。できれば日本語も書くようにアドバイスする。例えば単語だけでも良い。これはあくまでも本人の活動メモなので、ここでは添削しない。

- ・「ようこそ図書館へ」を見て下記の3点は必ず知らせる。

P.3 貸出期間/冊数/点数

P.8 「こんなサービスもしています」

P.11 近くの図書館を知る

必要に応じて翻訳版を渡す。その他、学習者のレベルに合わせて冊子を活用し、情報を取る。

発 図書館に希望する面白いアイデアがあれば、実際に提案しても良いかもしれない。

コラム

- ・身近で便利な吹田市立図書館を利用しよう！
 - ・大阪市立中央図書館も紹介。蔵書も最大規模だが、外国語の蔵書も多い。吹田からは少し遠いが、そんな図書館があることを知らせる。ホームページには「英語・中国語・韓国語・やさしいにほんご」の案内がある。
- 最寄駅：地下鉄千日前線・長堀鶴見緑地線「西長堀」下車
南千里から西長堀 電車で約50分 運賃は¥450（2018年10月現在）